

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

— 目次 —

1. 現行計画の概要

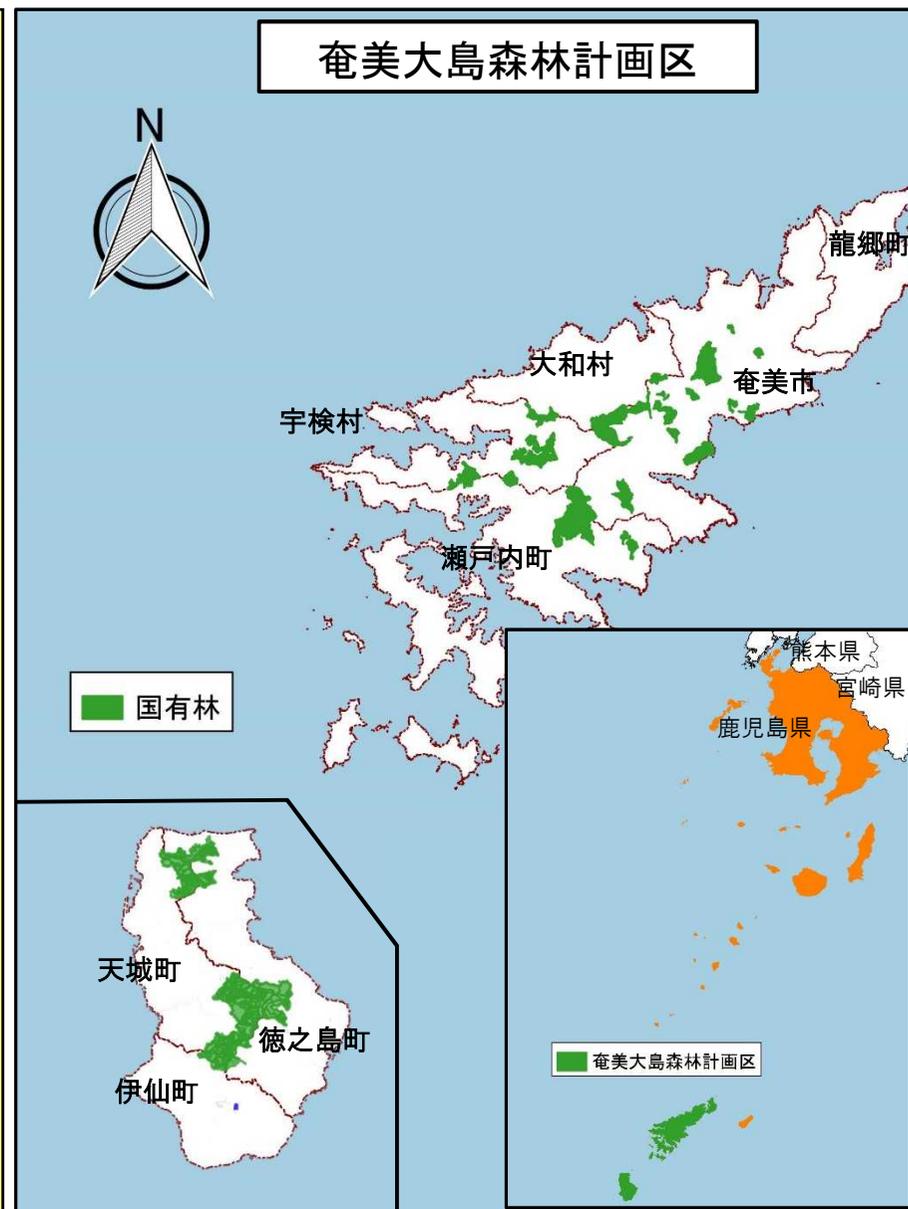
- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

2. 次期計画の検討方向

鹿児島森林管理署

1. 現行計画の概要（平成29年4月1日～令和4年3月31日）

- 奄美大島森林計画の対象は、九州本島の南西350km～450kmに位置し、国有林は奄美本島中部から南西にかけての大小の団地、徳之島は井之川岳から犬田布岳にかけての大きな団地及びその他多数の小団地からなり国有林は7,916haとなっています。
- 国有林野面積は計画区内の全森林面積の10%にあたり、天然林が91%と多く、一部人工林が見られるものの天然林中心の林分となっています。
- 水源かん養保安林を主体とした保安林が全体の95%に達し、表土が浅く、台風の多いこの計画区では国土保全の面においても重要な役割を担っています。
- 国有林の大部分は、スダジイなどの広葉樹が生育する天然林で、針葉樹はスギ、ヒノキ人工林などからなっています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分	機能区分の考え方	目指すべき森林の姿	面積 (ha)
山地災害防止タイプ	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林	641
自然維持タイプ	原生的な森林生態系や希少な生物の育成・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林	6,219
森林空間利用タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林	—
快適環境形成タイプ	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林	—
水源涵養タイプ	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮	1,056

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な自然環境としての天然林等が多数存在しており、保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
森林生態系保護地域	奄美群島	原始的な天然林及びアマミノクロウサギやルリカケスなど大陸依存種を保護する。	4,820
希少個体群保護林	奄美群島アマミノクロウサギ等	アマミノクロウサギやトゲネズミ類など奄美群島を特徴づける希少種や固有種を保護する。	1,334
	面縄リュウキュウマツ遺伝資源	リュウキュウマツの遺伝資源を保存する。	5



② 希少野生動植物種の保護管理

希少野生動植物種の生育環境の維持・保全を図るため巡視等を行っています。



アカヒゲ



アマミヤマシギ



アマミノクロウサギ



ルリカケス



オーストンオオアカゲラ



トクノシマエビネ

③ 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



鹿児島県奄美市金作原地区において発生した山腹崩壊箇所において、土留工等による早期復旧工事を実施しました。

また、工事の資材に間伐材を積極的に使用する等木材利用の推進に取り組んでいます。



鹿児島県大島郡小勝地区において、集落近隣の急斜面地において、落石の危険があるため山腹工を実施しました。工種としてリングロープネット工を採用したため立木伐採を最小限にとどめ、また、地表植生が甦生し山林へ戻ることが期待出来るとともに、落石防止に効果があります。

④ 森林環境教育のためのフィールドの提供

自然にふれ、遊んで学ぶ「遊々の森」としてフィールドを提供しています。



検福国有林外2において、93.47ヘクタールを遊々の森「カムイヤキの森」として伊仙町長と協定を交わし、フィールドの提供をしています。



森林体験等の森林環境教育や里山林の再生等、森林の多様な利用を促進するための体験活動の場、木育教育の場として利用されています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- 世界自然遺産推薦地が含まれる計画区であり、地域特有の環境や地形に配慮しつつ、国有林野が有する水源涵養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- 多様な森林生態系の保全に向け、民有林行政と連携を図りつつ、地域の現状等を踏まえた保全・管理等についての課題やニーズの把握に努めていく必要があります。
- 本計画区には、国内希少野生動植物種や天然記念物に指定されているオーストンオオアカゲラ、ルリカケス、オオトラツグミ、アマミヤマシギ、アマミノクロウサギなど生息していることから、生息環境の維持及び適切な保全・管理を推進する必要があります。



写真提供：NPO法人徳之島虹の会



- 本計画区には、森林生態系保護地域等の設定をしており、世界自然遺産登録を見据え関係住民の理解と協力を得ながら、関係行政機関と連携を図りつつ適切な保全・管理に努めていく必要があります。
- 森林病害虫等に強い多様な森林の造成を、立地条件に応じ推進していく必要があります。
- 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



(2) 計画内容

- 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、地域の特性に応じた多様な森林生態系及び多様な林相の森林を保全していくとともに、希少な野生動植物が生息・生育する森林について適切に保護・管理を推進する方向です。
- 貴重な自然環境として多数存在する天然林や、奄美群島を特徴づける希少種及び固有種の保護を目的とする保護林については、その機能を維持する方向です。
- 森林が有する多面的機能の効果的な発揮とともに、森林浴や森林ボランティア、環境教育等森林と人とのふれあいの確保のためのフィールドの提供等に取り組む方向です。

